

令和七年度 学校関係者評価報告書

学校法人 秋吉学園 穴生幼稚園

1. 本園の教育目標

いつも明るく、心も体も強い子
自分で考え、自ら気づく子
ありがとう、ごめんなさいが素直に言える子
物を大切にし、人に迷惑をかけない子
規則を守り、集団生活に順応する子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、各評価項目について自己点検・自己評価することで、教職員が自らを振り返り、保育内容の改善に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育計画と内容	一人ずつ違う現状と望ましい年齢別の発達とを照らし合わせ、個別に目標を立て計画を実践している。
2	保育のあり方・子どもへの対応	子どもたちに自信や安心を感じさせるための言葉かけや内容には各人非常に気を付けている。
3	教職員間相互の協力・連携・役割	日々の保育や出来事の情報職員間で共有し、それぞれの立場から意見を出し合って連携している。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

毎年末に自己評価を職員にアンケートを取ることが定例となり、自分自身の身の回りのことや保育を振り返り、新たな気づきの機会となっている。各職員はそれぞれがより高いレベルの保育を目指して日々悩み実践してくれている。園内の仕事を逐一見直し「この業務の意味は？必要か？」を常に問い直していく。保育の質向上の前提条件は「保育者の心身の余裕から生まれる」を忘れずに、管理者として取り組んでいく。保護者への連絡について、担任と対面で内容をお伝えすることを重視しているが、すれ違いもあり得るため他職員との連携も必要となる。伝えるニュアンスに違いが出ないように配慮していく。前述のように小学校へのスムーズな移行を目的に、来年度からより緻密な幼保小連携が求められる。卒園児一人一人について、進級する小学校へ園での様子などの情報を丁寧に伝え、入学以降も情報交換を行うことで、新たな環境に少しでも早く慣れるように協力をしていく。また、保護者に好評だった給食の試食は、口に入る大切なものだけに今後も重要と思われる。シナモンさんとバランスの取れた食材や高い栄養価に加え、美味しいことも同時に追求していく。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育計画と内容	指導計画の立案や振り返りの流れを、専門の立場からアドバイスをいただける機会を作る必要がある。
2	保育のあり方・子どもへの対応	子ども達への関わり方に差が生じないように、サポートの先生と連携して取り組んでいく。
3	地域の関わり	小規模園・小学校との連携で乳児→幼児→小学生への成長の流れを把握し、よりスムーズな情報の伝達とより良い保育への情報交換を行っていく。

6. 学校関係者の評価

- ・参観日や日々の動画の様子から園児一人一人に丁寧に関わってくれていることがわかると同時に、日々の保育の積み重ねから確かな子どもの成長を見ることができ、安心して預けることができる。
- ・保護者からの問い合わせに対し、きちんと話を聞いてくれ、対応やその後の状況を都度報告してくれて信頼できる。
- ・バス添乗が担任の先生でなかった場合でも、園でのその日の様子を伝えてくれ、職員間の連携がしっかりと取れていると感じる。